

## 令和6年度旭区区政会議 第1回活力・安全部会 会議録

### 1 開催日時

令和6年7月24日(水) 午後7時から午後7時55分

### 2 開催場所

旭区役所 第2・3会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

加藤部会長、入夏副部会長、田中委員、種野委員、茶本委員、出蔵委員、  
宮前委員、山崎収一委員、渡邊委員

#### (2) 旭区役所

東中区長、松原副区長、宮崎企画課長、大前総務課長、仙田地域課長、  
宗光まち魅力課長、土井地域課長代理兼防災安全課長代理 他

### 4 次第

#### (1) 開会

#### (2) 区長あいさつ

#### (3) 議題

令和5年度旭区運営方針の評価について

#### (4) その他

#### (5) 閉会

### 5 議事内容

#### ○田窪企画課担当係長

失礼いたします。まだお見えになっていない方もおられるんですけども、定刻となりましたので、ただいまより、令和6年度旭区区政会議第1回活力・安全部会を開会いたします。

本日は、ご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。私は、本日の司会を務

めさせていただきます、旭区役所企画課担当係長の田窪でございます。どうぞよろしくお願いたします。

本日の会議は、動画配信サイトYouTubeの当区役所のチャンネルにおいて、会議の様子をライブ配信しておりますことをお伝え申し上げます。

それでは、会議開催に当たりまして、区長からご挨拶申し上げます。

#### ○東中区長

改めまして皆様、暑い中、お忙しい中、本日はご足労いただきましてありがとうございます。加藤部会長をはじめ委員の皆様、先日来も意見交換など活発なご意見を賜り、重ねて感謝申し上げます。

本日は5年度の振り返りということを軸に、6年度、そしてまた今後に向けてというところで皆様方のご意見を伺えますと、大変私ども嬉しく存じます。

区政は様々に改良、改善を加えるべき部分と、継続性、連続性というところを踏まえていくという部分と様々な観点がございます。皆様方もご承知のところかと存じます。

そうした点は、私どもは正直考えあぐねている点も中にはあったりもいたします。皆様方の貴重なご意見をヒントにさせていただけますと大変嬉しく存じます。どうぞ皆様、お忙しい中恐縮でございますけれども、何卒よろしくお願申し上げます。

#### ○田窪企画課担当係長

次に、区政会議は条例の規定により、開催要件として委員の定数の2分の1以上の出席が必要となっております。今現在、定数15名のところ、8名のご出席をいただいておりますので、本会は有効に成立しておりますことをここにご報告させていただきます。

また、先にも申しましたとおり、当会議はインターネット上の動画配信を含め、公開としておりまして、会議を撮影させていただいているほか、後日、公表する会議録作成のための録音につきまして、各ハンドマイクを通して行っております。つきましては、ご意見やご質問等のご発言の際は、マイクのご使用にご協力をお願いいたします。

本日、お配りしております資料は次第に記載のとおり、資料1および資料2となっております。事前に配付させていただきました資料をお持ちいただいた委員の皆様におかれましては、本日は、旭区運営方針戦略別シートを資料1、旭区運営方針の本様式を資料2とさせていただきますので、お取り扱いについてよろしくお願いたします。皆様、資料はお揃いでしょうか。

なお、区役所で保管させていただいております常用の資料としまして、旭区将来ビジ

ョン等を綴っております青色ファイルを各座席に置かせていただいております。

本日ご出席いただいている委員の皆様、並びに区役所側の出席者につきましては、配席図および委員名簿をお配りしておりますので、個々のご紹介は省略させていただきます。

なお、防災安全課長の横谷におきましては、引き続き育児休業を取得しておりますので、防災安全課に関わるご説明につきましては土井課長代理が行います。よろしくお願いいたします。

それでは、これより議題に入らせていただきますけれども、以降の議事進行は加藤部会長にお願いしたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○加藤部会長

はい。それでは早速次第に沿って進めさせていただきます。

議題の令和5年度旭区運営方針の評価について、事務局より説明をお願いいたします。

○宮崎企画課長

はい、失礼いたします。皆さんこんばんは、企画課長の宮崎です。早速ですけれども、私の方からまず、資料等のご説明を申し上げます。先日の意見交換会のとくと重複する部分もございますが、ご出席されてない方もいらっしゃいますのでご了承ください。

先程来申し上げますけれども、今回の区政会議の部会・全体会におきましては、令和5年度の運営方針の振り返りの自己評価について、ご意見を賜るということしております。昨年度までは具体的取組の資料と全体の一覧表という資料の2つの資料を見比べていただきながらご説明させていただいておりましたが、令和5年度より、この本様式の方が簡素化をされております。それに伴いまして、説明用の資料として作らせていただきました本日の資料も、各戦略を1ページずつにまとめてございます。ということでこちらが本様式、こちらが課題別シートということになります。本様式の主要な部分はこちらのシートに抜き出した形で掲載をしておりますので、説明についてはこちらの資料を使って進めてまいりたいと思っております。

続いて、こちらの各シートの記載内容ですけれども、左から順に5年度の実績、その横にそれらの実績から見てきた課題ですとか、あるいは認識している課題、その右隣にこの課題に対する改善策という順で記載をしております。最後、一番右側ですけれども、薄いブルーの網掛けの部分ですが、こちらには、これまでの実績を踏まえて、現在進行形の6年度の実績において、重点的に実施している、あるいはしようとしている取組、意識して実施する視点などを記載させていただいております。シートの下段の方には、戦

略ごとの指標と課題と今後の方向性について記述をしております。

本日は活力・安全部会ということでございますので、こちらの資料の後ろ2枚、5ページから8ページの真ん中の部分の表、具体的取組という部分を中心にご説明をし、ご意見を賜りたいと思います。

また、8月の8日に予定をしております全体会におきましては、この資料の下段にあります、指標や課題などを中心にご説明をし、ご意見を賜りたいと考えております。

この後、各課長より内容の説明を行います。特徴的な部分に絞ってご説明申し上げますことをご了承ください。

それではよろしく申し上げます。

#### ○仙田地域課長

皆さんこんばんは、地域課長の仙田でございます。私の方から説明をさせていただきます。資料1の5ページをご覧ください。戦略3-1、地域コミュニティの活性化でございます。

こちらの戦略では、資料の左手の項目のところに記載がありますように、上から順番に地域活動協議会による自律的な地域運営の促進、そして2つ目がスポーツ・文化等によるコミュニティの育成、3つ目が生涯学習の推進、4つ目が人権施策の推進というようになっております。

取組実績につきましては、ここに記載がありますとおり、アフターコロナに関わって、各地域や各種団体の活動再開に向けての支援を実施いたしました。実施回数や参加人数等については、記載のとおりとなっておりますのでご覧ください。

そして、課題でございますが、この支援内容や各種催しへの認知度に差があるということでありました。改善策といたしましては、これまでの区広報紙や区のホームページ等への掲載に加えて、より幅広い年齢層へのPRをするため、X、旧ツイッターやInstagram等のSNSの活用を強化し、開催の周知や、当日の様子を動画として投稿するなど、認知度向上に向けて進めているところでございます。

また、地域の活動を共有するために、職員が地域に入らせていただいて、コミュニケーションをとらせていただいております。

また、各地域で活動されていることを、情報交換会などを開催させていただきまして、各地域の皆様同士でコミュニケーションをとっていただく機会を設けております。地域の皆様が自律的に活動できるように、これからも支援をしていきたいと考えておりますので、

よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○宗光まち魅力課長

こんばんは。まち魅力課長の宗光です。裏面のページ、6ページをご覧ください。戦略3-2、地域資源を活用したまちの魅力づくりについて説明させていただきます。

まちの魅力を高める取組としまして、具体的取組ですけれども、当年度の取組実績にありますように魅力ある城北公園で楽しむ賑わいイベント、「あさひファン★フェスタ」をはじめ、音楽を通じた賑わいイベント、「旭区検定」や「わくわくキーワードラリー」など、各種事業に取り組みさせていただきました。昨年度は、アフターコロナの影響もあったと推測されますが、各事業の来場者や参加された方が軒並み増えております。

特に「あさひファン★フェスタ」では、前年度から2.5倍の来場者数、「旭区検定」では過去最高の受検者数となっております。また、来場者や参加者だけでなく、各事業への出店や参加、協賛いただいたお宝店舗、商店街や地域の方々なども増えてきております。

そういった状況から、課題としましては、まちの魅力をより高め、その魅力に触れていただけるよう、区民や地域、商店街の方など皆様のご意見を踏まえながら、コロナ禍で得てきた創意工夫も活用しながら、取組を充実させていく必要があるとしております。

今年度ですけれども、6月2日に実施しました、城北公園の賑わいイベント、「あさひファン★フェスタ」、このイベントなんですけど、コロナ禍を契機に区役所が主催する手法で、旭区にある旭区自身の魅力をお伝えする内容に変更しまして、参加者や来場者の皆様にも好評いただいているところです。

また、今回会場では、働く車の展示など、お子様も楽しめるキッズエリアを新設して、お宝の新規の認定店舗にも多数出店いただきまして、規模を拡大し、来場者も2万4000人と、令和5年度から1.6倍に増えておりまして、多くの方に旭区の魅力に触れていただけたのではないかと考えております。

その他の事業におきましても、今後も区内の交流の輪を広げ、絆を深めていただけるよう、取組に創意工夫を重ねながら、区民の皆様とともにまちの魅力向上に取り組んでまいりたいと考えております。

私の方からは以上でございます。

○土井地域課長代理兼防災安全課長代理

はい、続きまして防災安全課課長代理の土井でございます。資料7ページをご覧ください。

さい。戦略4-1、地域コミュニティの強さを活かした自助・共助によるまちづくりに関してご説明いたします。

まず、資料左側の項目欄がございます、地域防災・減災力の強化というところの取組につきましては、その右横の取組実績の欄に記載がございますとおり、防災の啓発、また各地域での防災訓練、小・中学校での防災教育、備蓄物資の整備などに取り組んでおります。各具体的な数字はこちらの実績の数字をご確認ください。

また、課題につきましては、課題欄に記載がございますとおり、防災訓練等の参加者が、ご高齢の方の割合が高くなっているということにつきまして、改善策としまして、訓練等の周知方法を旭区役所のSNS、Xなどを通じて広く呼びかけることを含め、住民の皆様への防災意識を高めまして、防災に関して自分事と感じていただくことが、防災訓練に参加する動機に繋がると考えております。

そのためには、毎年10月の広報紙の防災特集の記事をよりご理解いただけるよう、その内容を工夫するほか、小学校の防災事業におきましても、保護者の方が参加できるよう、体験型訓練も取り入れるとともに、中学校の防災事業におきましても、学生等が家庭に持ち帰りまして、家族でそういう中身を話し合ったりできるよう促したりするなど、防災意識を高めていくよう取組を進めております。

また、昨年度この区政会議でご意見を頂戴いたしました、地域の掲示板に防災マップを掲示することに関しましては、現在、区内の市広報板31ヶ所に防災マップを掲示しております。今後、各町会が管理する掲示板に掲示できるよう、掲示板の管理者であります各町会と調整をしております。

続きまして、裏面8ページをご覧ください。こちら戦略4-2、地域防犯力の強化となります。こちら左側の項目の防犯、交通安全対策ということで、こちらの取組につきましては、その右横の取組実績をご確認ください。実施回数等は、そちらに記載しているとおりでございます。中身としましては、青色防犯パトロール、子どもの安全パトロール、また、地域や警察と連携した啓発活動などに取り組んでおります。

また、交通安全対策につきましても、こちら地域や警察と連携して交通安全大会や交通安全教室の開催のほか、街頭啓発などに取り組んでおります。

特に、防犯の関係につきましては、課題にありますとおり、重点犯罪のうち、特殊詐欺が増えております。警察や地域と連携して対応策のポイントに書いておりますとおり、年金支給日に旭郵便局の前で街頭啓発するなど、より効果的な啓発活動を実施してまいり

たいと思います。

なお、このアウトカム指標にあります重点犯罪の発生件数および自転車交通事故の発生件数につきましては、警察の認知件数となっておりますので、補足させていただきます。

以上でございます。

○宮崎企画課長

はい、それでは最後に、それぞれのページの下段にあります、アウトカム指標の達成状況につきましては、いずれも達成とさせていただきます。

しかしながら、各ページの上段の方に書かせていただいておりますめざすべき将来像に向けましては、なお途上ということでございます。引き続き、それぞれの課題認識を持ちつつ、取組を進めてまいりたいと考えております。

資料の説明は以上となります。加藤部会長よろしく申し上げます。

○加藤部会長

はい、ありがとうございました。

ただいまの説明に対するご意見、ご質問の前に、事務局より事前にいただいておりますご意見があるとのことですので、そちらの方から区役所の回答をお願いいたします。

○宮崎企画課長

はい、ありがとうございます。

本日お手元にですね、区政会議委員より事前にいただいたご意見やご質問ということでA4版、縦版の資料を1枚置かせていただいております。4名の方から、8点にわたって、事前にご質問なりご意見なりをいただいております。誠にありがとうございます。

本日につきましては、1つ目の全体に関すること。それから2つ目の両部会にまたがること、中段以降の活力・安全部会に関することにつきまして、ご回答申し上げます。

まず、全体に関わりますことですが、書かれておりますことが2点ございます。1つは、アウトカム指標の目標値が、見方を変えればちょっと低いんじゃないかというご意見。もう1つは、アンケートで満足できないというような否定的な回答に、フォーカスを当てているのか、というご質問でございます。

まず、アンケートを指標に使っております戦略の否定的な意見の部分へのフォーカスにつきまして、担当課の方からご説明申し上げます。

○仙田地域課長

はい、地域課仙田でございます。私からは満足できない、否定的な意見の中で、いろ

んな活動を地域活動協議会がされているのに、周知が不十分であるといったような内容がございました。

これに対しまして、地域課としましては、今後も地域の皆様とのコミュニケーションをとらせていただきながら、地域活動協議会が自律的に活動を進められるよう、地域からのご相談事や広報活動などに支援を進めていきたいというように考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

#### ○宗光まち魅力課長

まち魅力課、宗光です。まち魅力課では、イベント等の取組が旭区の魅力を高めることに繋がると思う参加者の割合ということで、指標を挙げさせていただいているんですけども、各種事業で、参加者アンケートをとらせていただいて、そこでもいろいろとご意見を書いていただいております。

参加者以外に出店いただく協力者の方などにも、お声を聞かせていただいております。必ずまち魅力課でそれを集約させていただいて、次年度以降に改善すべき貴重なご意見ということで、真摯に受けとめをさせていただいております。

また、アンケート以外にも日頃からお力添えをいただいております、区民や地域商店街の皆様からも日々のコミュニケーションの中で、きめ細かくご意見をお聞きするようさせていただいております。今後ともいただいたご意見を振り返りながら、改善策の検討を順次行って、目標の達成がゴールではなく、賑わいづくりの取組をより充実させていきたいと考えております。

以上でございます。

#### ○宮崎企画課長

続きまして、全体に関することのもう一つの大きなご質問でございますアウトカムの目標が、見方を変えれば少し低いのではないかと、という部分でございますが、考え方についてご回答申し上げます。

アンケートを割合にしております指標につきましては、7割、8割、9割近い、数字的には高い数値を目標としておりまして、決して低いものとは考えておりません。

令和5年度に、全てにおいて達成となっていることに関しましては、中には9割を超えるものもありますが、いずれもコロナ明けということで、いろんな活動が再開しております、それらにご参加いただく方、皆さん方も待ちに待ったというような思いを持たれ



ている方も少なくないというように思っております。そのような思いの表れが、数字的にも出ているのかなというように考えているところです。もちろん、10割をめざして取り組むわけですが、現在の目標値も、繰り返しになって恐縮ですが、数字的には低いものではないというように考えておりますし、これまで地域の方々とともに取り組んできたむしろ現実的な数値であるというようにも思っております。達成できたからもう頑張らなくていいということでは決してなくて、高水準で維持し続けるということが重要であると考えておりますし、そのためには、不断の努力が必要というように認識しております。

種野委員にご指摘いただきました否定的な部分へのフォーカスというのは大変重要な視点だというように考えておりますし、今後取り組むべきヒントがそこにあるというようにも思っております。今、各課長が答えました視点も含めて、そういった取組の積み重ねをもって、高水準の維持、それからめざすべき将来像に近づけることというように繋げてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、2つ目の両部会にまたがることということで、城北公園だけではなくて、地域の小さい公園も整備してほしいというご意見を賜っております。これに関しましては、公園というのはコミュニティの場でもありますし、子育て環境といった面で、両部会にまたがるものとして取り扱わせていただいております。

地域の小さな公園につきましては、今申し上げましたように、地域の重要なコミュニティの場でもありますし、また、意見の中にも触れられておりますように、子育てをする若い世代の方々の交流や情報交換の場ということでもございます。ですので、その重要性というのは十分に区役所としても認識しているところです。

区役所としましては、公園を直接管理しているわけではございませんので、端的にお答えさせていただくと、公園の所管の局に伝えておきます、というような回答になってしまうのですが、現在大阪市では、区と局が連携して進めるというような取組がございまして、この地域の公園につきましても、そのような取組の1つに位置づけられてございます。ですのでまずは、所管局へ区民の皆様方のご意見をしっかり伝えるということ、そして、意見交換などコミュニケーションを所管局と十分に取り、意思疎通を図りながら、区役所としても取り組んでまいりたいというように考えております。

なお、具体的な公園の器具の破損など、不具合の箇所や具体的な要望がございましたら、その都度、直接所管しています鶴見緑地公園事務所に修理等の具体的な対応も求めていきたいと思っておりますので、教えていただけたらというように思います。

以上でございます。

それでは中段以降担当課よりお答えさせていただきます。

○土井地域課長代理兼防災安全課長代理

私からは上から4つ目の活力・安全部会に関して頂戴した3つのご質問、ご意見についてお答えします。

まず、1つ目の内田委員より頂戴している意見につきましては、おっしゃるとおりでございます。引き続き、防災教育や地域の特性に応じた訓練をして、より内容も充実できるように、地域の皆様と連携して進めてまいりたいと考えております。

続きまして、2つ目の個別避難計画につきましては、平時の見守りの際に活用されております。見守りネットワーク事業の名簿をベースに、各町会長の皆様のご協力を得まして、現在、約2600名分のものを作成しております。作成した後は、毎年、新たにその見守りネットワーク事業の名簿に追加された方を追加するとともに、行政情報等にて、死亡転出による削除や、区内転居による住所変更等の更新作業も行っております。一方、その行政情報以外の項目につきましては、その一部を地域の皆様にご協力をお願いすることになりますが、地域ごとに様々な実情があると伺っておりますので、今後、その実情に応じて更新の方を進めてまいりたいと思っております。

また、避難計画を作成しているだけでは駄目です、というご意見につきましては、現在、個別避難計画に即した訓練を地域で実施いただけるよう、自主防災組織の方や医療福祉関係の方にお話をし、そのような訓練ができるよう努めてまいります。

また、個別避難計画とは離れますが、現在、旭区では、医療・看護・福祉関係者と警察、消防の方が参画する旭区医療看護介護関係者会議というものを開催しておりまして、そこでは、災害時における要支援者の方の様々な諸課題に対する取組を検討するとともに、災害時に各関係機関が連携して対応できるよう、顔の見える関係の構築を進めております。

続きまして、防災リーダーの方の高齢化について、行政が正面から取り組んでいる姿が見えませんかというところに関しましてです。先ほどの取組の中身と重複しますが、自主防災組織や地域防災リーダーの高齢化につきまして、区としましては、他の自治体などの取組事例なども紹介しながら、地域の皆様と連携、相談しながら取り組んでまいりたいと思います。また、地域活動や防災訓練などへ、幅広い世代の方に参加していただくために、先ほど説明いたしましたとおり、住民の皆様の防災意識を向上させて、防災訓練へ参加するための動機に繋げるために、様々な啓発等を進めていきまして、少しでも多くの方が防

災に関わっていただけるように進めてまいりたいと思います。これが戦略4-1です。

続きまして、戦略4-2、地域防犯力の強化というところです。こちらアウトカム指標における大阪重点犯罪の発生件数について、アウトカム指標上はその目標の数字を達成しておりますが、結果としましては、令和4年度よりも1割増加しているということでございまして、こちらにつきまして、増加率も抑制できているという評価なのでしょうか、また、大阪市内で比較すると、どのような状況でしょうか、というところです。こちらにつきまして、重点犯罪につきましては、この近年、令和3年度まで毎年減少が続いており、特に、コロナ禍でありました令和2年度、3年度につきましては、社会活動が大きく停滞したことに伴いまして、旭区と大阪市全体ともに発生件数が大きく減少しております。

しかしながら、令和4年度以降につきましては、旭区および大阪市全体ともに増加傾向に転じております。特に、旭区につきましては、令和5年度の発生件数が350件で、コロナ禍以前である令和元年につきましては、403件ということで、令和元年と比べますと下がっております。

一方、大阪市につきましては、令和5年度の発生件数が1万7410件。一方、コロナ禍前の令和元年につきましては、1万7304件ということで、わずかながら微増という形で、大阪市は増えております。中身を見ていきますと、主に特殊詐欺がこの間大きく増加傾向にあることから、先ほどの取組の方でも説明させていただきましたとおり、地域の警察と連携して、効果的な啓発を実施し、発生件数を抑制できるように努めてまいります。回答は以上でございます。

○宮崎企画課長

事前にいただきましたご回答につきましての説明は以上になります。

部会長よろしく申し上げます。

○加藤部会長

はい。ありがとうございました。それでは先ほどの説明で他にご意見、ご質問があればお受けします。

なお、当会議は先にお話があったように、動画での配信も行っており、またスムーズな議事進行の観点から、ご発言される場合は、お1人2、3分程度をめどとしていただきますようお願いいたします。区役所側の発言も同様をお願いいたします。

また、マイクを使用し、お名前を名乗られてからご発言をお願いいたしますようお願いいたします。

○山崎収一委員

2、3分ルールというのはこの部会だけですか。こういう会議では1人の発言は2、3分って限られているんですか。

○加藤部会長

限られた時間の中で皆さんにもご意見いただきたく、まずは大体2、3分程度で簡潔にご発言いただけたらと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

○種野委員

清水の種野と申します。いつもありがとうございます。

早速なんですけれど、このアウトカム指標というのは、企業でいういわゆる売り上げや利益などとは違うのでいい指標だと私自身は思っているんですけれども、今回、見ていると9年度までにいくらという目標があって、それに対して5年度はもう達成しているということで、6年度の数字がわからないですけれど、この先4年間どうするのかというのが素朴な疑問です。だから、その指標自身を6年度はもっとハードルを上げるのか、あるいは中身を変えるのかにもよっても違うんでしょうけれど、すごく違和感があって、普通はその目標に対して毎年ちょっとずつ上がっていくとか伸びていくというのが普通の感覚なんですけれど、いきなり達成してしまっているの、アウトカム指標というのは設定そのものに問題があるのでしょうか。評価の方法を出来レースみたいなことでやっているのかを含めて、先ほど、まさしく課題やいろいろな意見があってそれが大事だと言われていたわりに、その課題が何なのかは出てこない。あるいは6年度の中に入っているのかもしれない。だから私自身は、あまり100点というか、そこをめざすのはちょっと違うと思っていて、100人がみんなOKなんていうことは多分なくて、いろんな意見があって、それはそれでよしとして、どういう課題を今後やっていったらいいのか、そこがどうしても炙り出せていない。

要するに、先ほど区長が言われた継続も大事だと言われる割に6年度への継続性を感じない。だから、このモヤモヤ感が根底にあるんですけれど、難しい説明はいらないので、平たく、少なくともアウトカム指標は、6年度はどうするのかというところだけ、全部でなくてもいいですから何か1つでいいから教えてください。

○宮崎企画課長

先ほど申し上げたのは、今の設定している考え方でございます。数字的に低くないというような考え方を基本的には持っております。ただ種野委員がおっしゃるように、少し

ずつ上がっていくというのが一般的ではないか、というところでございますけれども、目標を1つずつ、ちょっとずつでも上げていくというのは1つの進め方の方法だとは思いますが、そこにあまり固執をしてしまうと、まさにおっしゃっていただいたように、それぞれの課題によって、目標度合いが違いますので、上がった数値、数字だけを追い求めるような活動にしてしまっただけでは、これはいけないと思っています。

やはり、めざすところはその先にある、めざすべき将来像というところにいかに近づけていけるかということですので、数値だけを挙げてその数字だけを追い求めるようなことにはしたくないというのが率直なところでございます。6年度について、どうするのかということですが、この目標というのは、昨年策定しました5年スパンの将来ビジョンと連動しておりまして、ですので9年度までの目標ということで同一に掲げさせていただいております。

それでいうと、5年度の結果は1回目の結果ということになりますので、これが本当に容易くクリアできる目標なのかということを見極めるためには、1年だけの結果を見るのは少し早いのかなというように考えているところもあります。ですので、変更しないということではないんですけれども、変更を考えるのであれば、やはり来年もそうなんだというようなところですか、現状の分析というのをきっちり行った上で、変えていかないといけないというように思っておりますので、6年度については、今のまま進めたいと思っております。

6年度の結果を見るということは7年度の途中に入っておりますので、7年度の状況も踏まえて、この先、最終年の9年度はこれでいいのかという議論は改めて区役所側としても検討して、皆さんの意見もそのときに賜りたいというように考えています。

#### ○種野委員

極めて納得性のあるご説明をいただいて、安心はしているんですけど、そうしたらここに達成と全部書いてあるのがうさん臭いんですよ。今の話でしたら、一応こうは言ったけれどこれはまだちょっと途中なのでもう1年様子見ますというぐらいにしていたら、もうちょっと継続性で何か考えているんだなという意味ではありがたいんですけど、ちょっとこの書き方が達成、達成で、花丸みたいなことが書かれていたのでちょっといかなものかなということでしたので、今の説明はよくわかりました。だから、もう1年、今年やってみて、2年間で見て再度評価しますよという決意表明と理解していいですね。

○宮崎企画課長

決意表明というか、5年スパンでやっていますので、前回のビジョンのときもそうだったんですけども、中間年に中間振り返りみたいなことをさせていただいているんです。ですので、そのときを捉えて、いろんな意見も賜りたいですし、そういうきっかけで我々もこのままでいいのかっていうことは検討したいと思っています。

○東中区长

よろしいですか。ご心配ありがとうございます。ご指摘の目標達成というのは、市の論理を24区に降ろされているロジックの上で整理しないとイケない記述方法なんです。だからこの点はおっしゃるように誤解を招きかねない点で大変申し訳ないんですけど、ご寛恕賜りたく思います。

それで大きな組み立てとしまして、このビジョン数年間で、例えばめざせ95%としたときに、今年は80、その次は85、その次は90、95というのがおそらく通常の目標のセッティングじゃないかという、そういうイメージで種野委員がおっしゃったように、我々もそういう感覚です。ですから、アウトカム指標でも実を言うと、5年度の結果としていい数字を頂戴してしまったねというのが、実は私達自身が驚いたというところです。

それが、先ほど課長がご説明申し上げたコロナの直後ということで皆さんが待ってたでという形で思いのほか好評価をいただいたのではないかと。もしかしたら今年は数字が下がるかもしれません。評価というのは人間の受けとめ方で、相対的に動きうるものですから、その点をしっかり複数年をかけて見ていかないとイケないと思います。そしてネガティブですけど、受けとめる区民の皆さんから見たら切実な、これちゃうやんというご意見というところにもヒントがありますから、やはりそのところを私どもは100%をめざすという気持ちの中で毎年、高い率をめざし続けるというところにおそらく向上の秘訣があると思いますので、もしかしたら今年はもうアクティブになった社会状況のもとでは、この数字は思ったほど出ない可能性もあるかなと、私どもとしてはむしろ今年こそ引き締めてかからないとイケないと、そんなふうにも思っているところです。

種野委員に今ご理解賜りましたように、複数年をしっかりと見て行って、実態に即した形で、その数字の意味するところを捉えて、皆様によりわかりやすくご説明を申し上げて、ここがあかんのちゃうかというところを、また、ズバリご指摘を継続的にいただけますと嬉しく存じます。

どうかよろしくお願ひ申し上げます。

○加藤部会長

はい、ありがとうございます。

他にご意見、ご質問がありましたら、山崎さん、はい。

○山崎収一委員

達成率がどうのこうのって言うって、前回の区政会議で町会組織がなくなってもいいと思っている人が8割を超えるっていう意見を聞いたんです。役員になる人がほとんどいない。町会長を引き受ける人がいない。町会が潰れてもかまわないと思っている人が8割を超えているっていう話を聞いてなるほどなと思っていました。全部が全部じゃないですよ。それが現実なんです。地域コミュニティの活性化という点では、区役所の取組がほぼゼロだって言っているのはそのへんです。うちの町会も2年前に私が引き受けたときから残っている役員さんは2名か3名、なり手がいない。必死になって頑張ってるけれども、なかなか揃わない。前にも言ったけれども、あと3年したらおせっかいで世話好きな団塊世代はほとんど消えるんです。老人クラブはほとんど潰れる。町会組織ももうほとんど成立しなくなるような状況というのが十分想像できるのに、3年後にさらに上げて9割、10割の達成率なんて、不満たらたらです。そういう現状を何回か意見で書いたつもりなんです。だけれども返事が全然ない。もう区役所の人意見なんて聞きたくない。どっちか言ったらこっちにいる10何人かいる人と意見交換をしたい。どうすれば地域が活性化できるかという具体的なことを聞きたい。区役所の人に別に聞きたいと思わない。何も参考にならない。四苦八苦して毎年、毎年、どうしようかと頭を悩ませているんです。区役所は何の助けにもならない。そう思っています。そういう事をいっぱい書いて出しているんだけど、その返事がないから前回は書かなかった。もうこれ以上言っても仕方ないんだったら、もう1期やるつもりでおりましたけれども、出ても仕方ないなということになるかもわからない。今日だってそうでしょう。これも前回は16人いたんですよ。今日は何人来ておられますか。区役所の人の方が多いでしょう。これで意見交換会って言えますか。具体的に何も進んでないし、もう嫌気さして出ないっていう人がほとんどなんです。私はしつこい性格なので出てきますけれど。言いたいことは言う。別に答えはいりません。はい、それだけです。

○加藤部会長

委員の皆さんで他に何かご意見があれば。

○茶本委員

太子橋の茶本でございます。戦略4-2のアウトカム指標についてお聞きしたいのですが、意見交換会の際にちょっと言わせていただきましたが、自転車盗を含む発生件数を360以下にするというアウトカム指標があるのですが、ちょっと私が昔読んだ本で、ちょっとお待ちください。「一般刑法犯の80%を占める窃盗の中でも20%以上を占める自転車盗にはさらにはからくりがある。」1980年代後半に検挙件数は急低下している図があるんですが、「当時、警察庁長官に就任した金澤昭雄が自転車窃盗のような軽微な事件を解決して検挙実数を積み上げるより、国民のニーズに沿わない捜査をやめて、より重大な事件に捜査力を振り向けるよう強く示唆。」とこのようにあります。だから、自転車盗というのは警察とかまたは国の方針によって変わってくるんだと、そういう話なんですけど、例えば思い出していただきたいんですが、昔は駅でよく痴漢は犯罪です、というポスターがありました。あれを貼ることによって被害届が増えたんです。だからそういう形で、そのときの状況によって発生認知件数が増えたり減ったりすると。もう1つは、例えば、区役所のところに自転車が置いてあると、それで5台盗られたとしたら、1件ずつで5件の犯罪にするのか、ひとまとめに1件とするのかというのは警察のそのときによって違っていると、そのように言われているんです。だから、それは本当かどうかわかりませんが、このアウトカム指標というのはちょっとやはりまやかしなんじゃないかなと。そのときの警察のように変わったりしますので、アウトカム指標を違うものに置き換えた方が私はいいんじゃないかなと思うんですが、どうでしょうか。

○土井地域課長代理兼防災安全課長代理

ご意見ありがとうございます。

今、茶本委員からおっしゃっていただきましたとおり、確かにこれは警察の認知件数ということなので警察がどのような統計の扱い、自転車を5台盗られても1件扱いにするのか5件とするのか、そのあたりは警察にも確認をする必要があります。いただきましたアウトカム指標の件につきましては、先ほど企画課長から説明がありましたとおり、このような数値、項目は中間見直しのときに、その他いただきましたご意見を踏まえて検討してまいりたいと思いますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

○東中区長

ちょっとよろしいですか。

今の茶本委員のご指摘について、私も昔話で恐縮なんですけれども、前回のときに確か種野委員とお話させていただいたときに申し上げたと思うんですけれども、市民局で防犯部



長を3年やったんですが、市内で3年間で防犯カメラ1000台をつけようと、当時吉村市長の時代だったんですけども、実はそのときに、犯罪の一定の指標として、自転車盗を抑えるというその数自体をキーパフォーマンスインジケータの1つにしようということがありまして、同じように街頭における犯罪を減らそうということで一斉に取り組んだ経過があるんです。当時、公園や見えないところで、いわゆる犯罪弱者と言われる高齢の方とか、特に子どもさんとか女性の方への犯罪を防ぐカメラをつけようということとあわせて、自転車の盗られる台数、そして自動車の盗られる台数、これは外国人による犯罪というのが当時話題になったときでもありました。それが1つの犯罪の大きな状況を映す数になっているのではないかと、話が飛ぶんですけど、その後一定抑えることができたんですね。あのときは24区合わせて、そして24区の各警察署さんと力を合わせて、パトロールは地域の方のお力も大いにお借りをしながら、自転車盗や自動車盗とあわせて、犯罪弱者と言われる方々への犯罪も抑えようということを吉村市長の頃に取り組みました。現在、この自転車の数というのがその一定の指標としてあるというのは、実はそのときの経過もあるというところを、ちょっと補足をさせていただきたいと思います。その上で今、土井代理からお答え申し上げましたように、指標として自転車盗というところが重点犯罪の相関関係に今なおあると考えると良いのか、再確認させていただきたいと思います。ご指摘ありがとうございます。

以上です。

○加藤部会長

はい、他にはどうでしょうか、よろしいでしょうか。なければ以上で予定されていた議題は終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

○田窪企画課担当係長

加藤部会長進行ありがとうございました。入夏副部会長をはじめ、委員の皆様もどうもありがとうございました。

続きまして、次第4のその他につきまして、引き続き私よりご説明させていただきます。本日、資料の最後に令和6年度旭区区政会議員研修会(視察)のご案内についてという文書を置かせていただいております。こちらですけれども、昨年度に引き続き、ご案内させていただくものとなっております、研修会と題しまして、運営方針の各経営課題から1つずつ計4つの取組の視察をご案内しております。また、その他の事業、イベント等のご自由に参加いただけるものもご案内しておりますので、お時間、ご都合等が合いましたら

たら、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

では本日の会議は以上となりますけれども、会議の終了に当たりまして、区長よりご挨拶申し上げます。

○東中区長

ご指摘、またお気持ちの入ったご意見など大変ありがとうございます。

いずれにしましても、皆様方から直接お話を伺いできるということが私どもにとっては、大変ありがたいところでございます。満足を感じていただける内容になったりならなかったり、いろいろあろうかと思いますが、少しでもよりよい区政になるようにしていきたいと思っております。どうか今後ともお力をいただきますよう、何卒よろしくご挨拶申し上げます。

御礼方々ご挨拶に代えさせていただきます。

○田窪企画課担当係長

それではこれもちまして令和6年度旭区区政会議第1回活力・安全部会を終了させていただきます。お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。